UNI-PEX

カラーカメラ

取扱説明書

VCC-210

このたびは、カラーカメラをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

工事店様へ　この取扱説明書には、ご使用方法・安全上のご注意などが記載されていますので施行後、お客様に必ずお渡しください。

定格

項目	内容
使用電源	専用コントローラーよりDC電源を供給
消費電力	5.0W
撮像素子	1／3インチ　カラーCCD
有効画素数	水平768　垂直494
撮像サイズ	水平4.88mm　垂直3.66mm
走査方式	2：1インターレース
走査周波数	水平15.734kHz（内部同期時）　垂直59.94Hz
同期方式	内部同期／V同期
解像度	水平470TV本　垂直350TV本
S／N	48dB
標準被写体照度	100lx　（F1.4　白熱灯）
最低被写体照度	1lx　（感度「入」時）（F1.4白熱灯）
AGC	内蔵
ホワイトバランス	自動追尾／手動／プッシュ
逆光補正（BLC）	あり
電子シャッター	あり
設定メニュー（オンスクリーンディスプレイ）	AGC、ホワイトバランス、BLC、電子シャッター、クロマ、輪郭、DCレンズ制御等の設定
カメラ出力	BNC　VBS　1V（p-p）　75Ω
カメラ出力（コントローラーへ）	BNC
アイリス	4P（角型）　DC方式／VIDEO方式対応
レンズマウント	CSマウント
外観色	白
文字色	グレイ
外形寸法	幅60mm　高さ60mm　奥行き90mm
質量	約300g
動作周囲温度	−10℃～50℃
動作周囲湿度	30%～90%
付属品	取扱説明書

安全上のご注意

安全にお使いいただくために－必ずお守りください

この「取扱説明書」および製品（本機）への表示では、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。
ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

△は、注意（警告を含む）を示します。
具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は、「感電注意」を示します。

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は、「分解禁止」を示します。

●は、強制（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜け」を示します。

⚠警告

設置作業時以外は、機器の、裏ぶた、キャビネット、カバーは、外さないでください。
内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。

機器を改造しないでください。
火災・感電の原因になります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

機器に水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用、および天井の水漏れには、特にご注意ください。

風呂場では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、同軸ケーブルや電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

⚠注意

湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

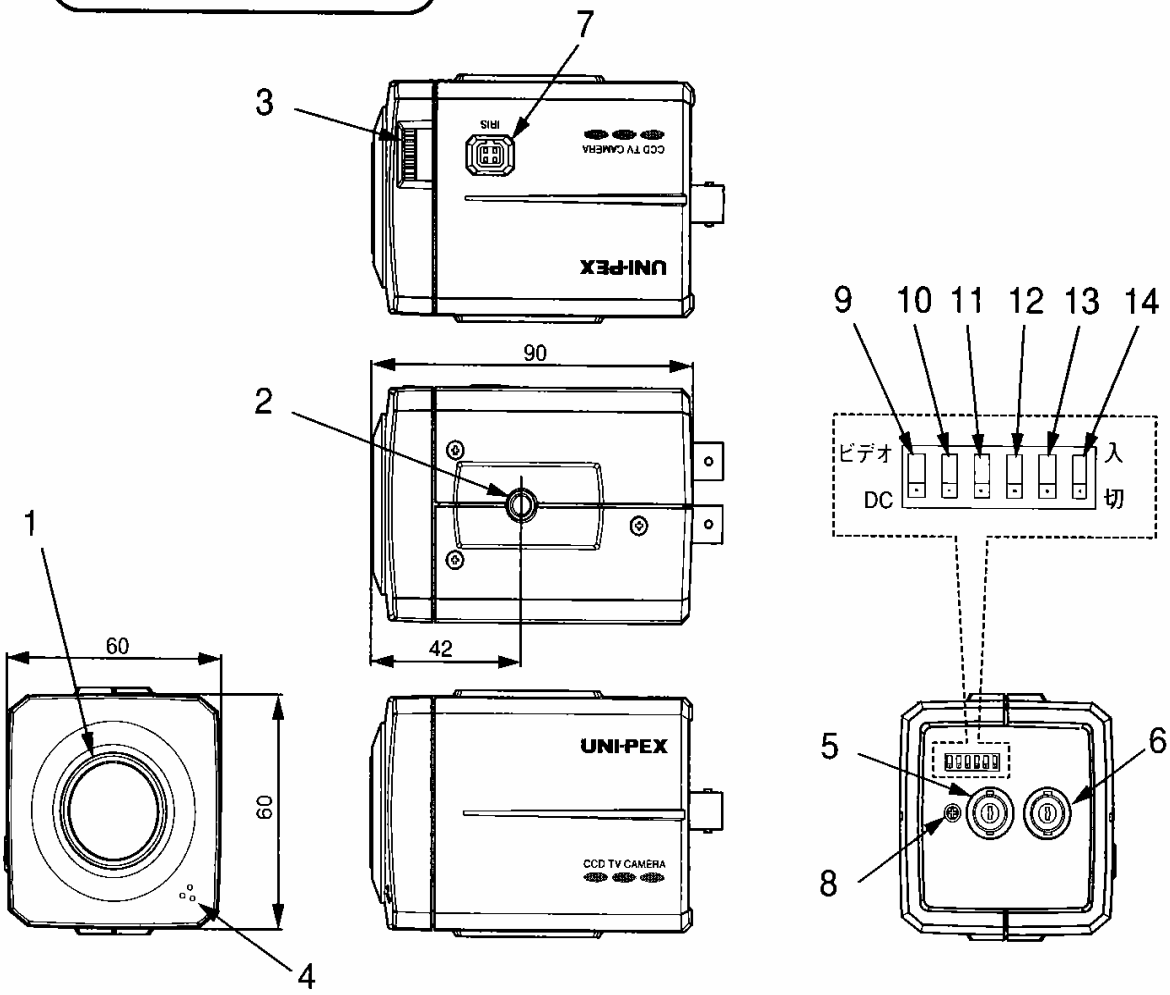
調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に設置しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

設置および配線工事には経験と技術が必要ですので販売店にご相談ください。

太陽光など強い光の当たる場所に設置しないでください。
光が焦点に集まって火災になる場合があります。

付属品を口に入れたり、飲み込まないでください。
けがや窒息の危険があります。

各部の名称と働き



① CSレンズマウント

CSマウントレンズを取り付けます。

② 三脚取付ネジ（1/4-20UNC）

カメラを三脚に固定するとき使用します。三脚ネジはカメラの上面および底面の二カ所あります。ネジの深さは6.5mmです。

③ フォーカス調節つまみ

レンズのバックフォーカスを調整します。

④ マイク

音声入力用のマイクロホンです。

⑤ カメラ出力

映像出力端子です。モニターテレビなどに接続します。BNC接栓です。

・接続する場合は、必ずマイクスイッチを「切」側にしてください。「入」側で接続すると映像に乱れが生じる場合があります。

⑥ カメラ出力（コントローラーへ）

専用コントローラーと接続します。BNC接栓です。

⑦ アイリス端子

オートアイリスレンズを使用するときに接続します。

⑧ ALCレベル調整ボリューム　※1

オートアイリススイッチが「DC」側の場合、ビデオ出力を調整します。

⑨ オートアイリス切換スイッチ

DC方式のオートアイリスレンズを使用する場合は、スイッチを「DC」側にします。ビデオフィードバック方式のオートアイリスレンズを使用する場合は、スイッチを「ビデオ」側にします。

・オートアイリスが「ビデオ」側の場合は、逆光補正（BLC）が十分に機能しないことがあります。

⑩ 感度スイッチ　※1

感度を上げる場合に、「入」側にします。

⑪ フリッカーレススイッチ　※1

電源周波数50Hz地域の照明下において、フリッカーが目立つ場合、スイッチを「入」側に切換えます。
（スイッチが「入」側の場合、感度が低下します。）

⑫ 逆光補正スイッチ　※1

逆光のため、被写体が明確に撮影できない場合は、「入」側にします。

・電子シャッター「AUTO」動作時、あるいはオートアイリスレンズ使用時（電子シャッター固定の場合は除く）のみ、この機能は働きます。
・周辺部とのコントラスト差が大きいときには、十分な効果が得られない場合があります。

⑬ V同期スイッチ

内部同期からV同期に切換えます。

・スイッチが「入」側の場合には、OSD（オンスクリーンディスプレイ）による設定が行えなくなります。

⑭ マイク入力スイッチ

音声入力する場合に「入」側にします。

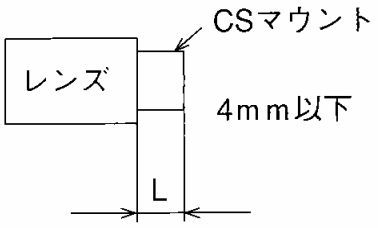
※1　OSD（オンスクリーンディスプレイ）でMEMORYを選択した場合、OSDの設定が優先され、スイッチの設定は無効となります。

レンズについて

最適な映像が得られるように、レンズのアイリスとフォーカスを調整します。

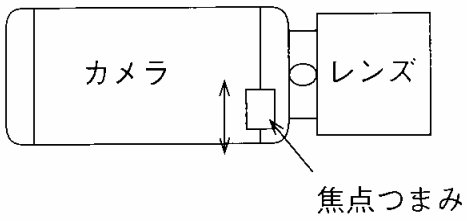
1．使用可能なレンズ

CSマウントのレンズで、マウントのベアリング表面からの長さ「L」（イラスト参照）が4mm以下（飛び出している場合）のものを使用してください。



2．ズームレンズを使用する場合（バックフォーカスの調整）

出荷時のカメラは、標準的なバックフォーカス位置にセットされています。
ただし、ズームレンズの種類によっては再調整が必要です。



再調整するときは、焦点つまみでレンズのバックフォーカスを調整します。イラストのように焦点つまみをどちらかの方向に回します。次の指示に従ってください。

1. 被写体を特定の距離に固定し、使用するズームレンズのフォーカス・リングをセットします。
2. ズームレンズを完全なTELE位置にセットし、ズームレンズのフォーカス・リングを回して最高の焦点位置を得ます。
3. 次に、ズームレンズを完全なWIDE位置にセットし、同じように焦点つまみを回して最高の焦点位置を得ます。
4. ズーム範囲で焦点が合うまで、2. と3. を繰り返します。

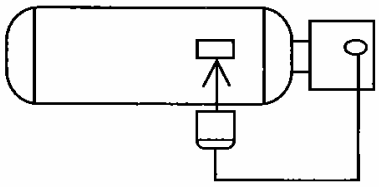
注意：・レンズの重量が1kg（2.2ポンド）を超える場合、カメラはレンズで支えてください。カメラ取付ネジで支えないでください。

・バックフォーカスの調整は、必要な場合以外行わないでください。

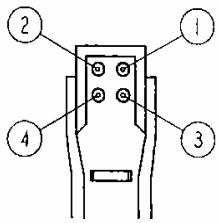
3. オートアイリスレンズを使用する場合

・DC方式のオートアイリスレンズを使用する場合は、カメラ背面のオートアイリス切換スイッチを「DC」側にして、レンズのプラグをカメラの右側にあるアイリス端子に接続します。

・ビデオ方式のオートアイリスレンズを使用する場合は、カメラ背面のオートアイリス切換スイッチを「ビデオ」側にして、レンズのプラグをカメラの右側にあるアイリス端子に接続します。
（レベル調整については、レンズの取扱説明書を参照してください。）



カメラ　オートアイリスレンズ
アイリス端子用プラグ
（CHUOMUSEN E4-191J-100）



はんだ付け側

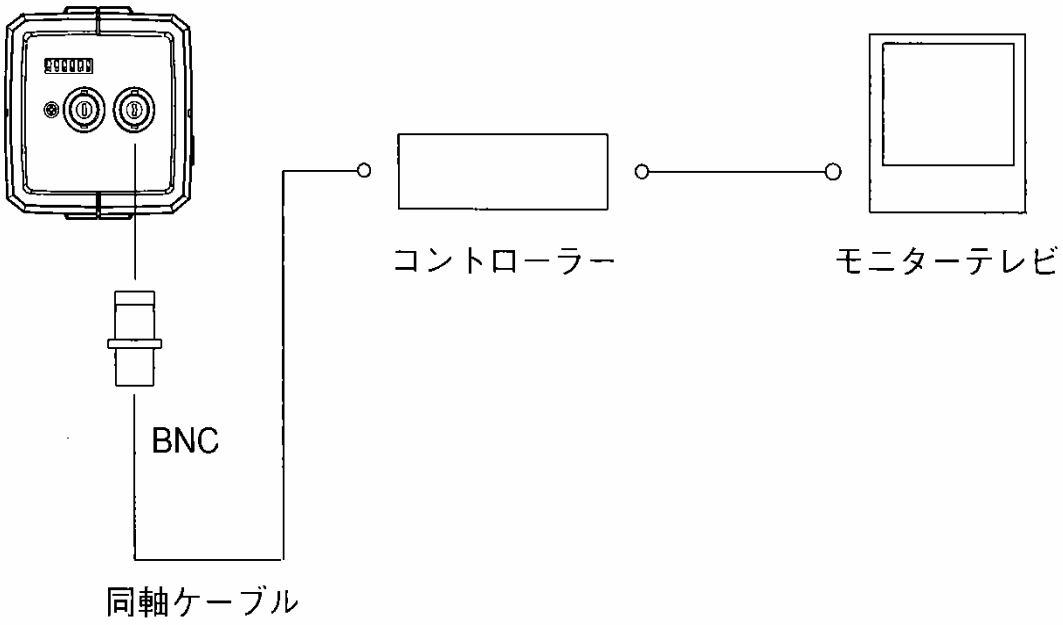
アイリス端子

	DC位置	ビデオ位置
1	Control−	＋9V　IRIS電源 （電流最大30mA）
2	Control＋	GND
3	Drive＋	0.8V（p-p） IRIS映像信号
4	Drive−（GND）	GND

・オートアイリスレンズを使用する場合は、OSDの設定で電子シャッターを「OFF」または「FL−ON」で使用してください。（10ページの「電子シャッター」を参照してください。）

接続方法

1. 接続前にすべての機器の電源を切ります。
2. カメラにレンズを取り付けます。(6ページの「レンズについて」を参照してください。)
3. カメラのカメラ出力（コントローラーへ）端子と、専用コントローラーのカメラ端子を接続します。BNC接栓を使用してください。



注意：・本機とコントローラーの接続ケーブルには、電源、映像信号、同期信号が多重されています。ケーブル補償器、映像分配器等をケーブルの途中に接続して使用することはできません。

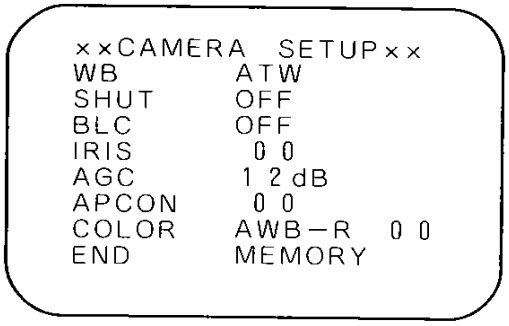
・本機とコントローラー間の最大ケーブル長は、使用する同軸ケーブルの種類によって異なります。コントローラーの取扱説明書にしたがってください。

・音声対応機能付コントローラー以外に接続した場合は、必ずマイクスイッチを「切」側にしてください。「入」側で使用すると、映像に乱れが生じる場合がありますのでご注意ください。

・本機は、被写体によっては電源入力直後から正常な映像になるまでに若干時間がかかることがあります。

カメラ制御装置

カメラの設定は、専用コントローラーによってモニターテレビに表示されるカメラセットアップ画面より設定します。



（モード）　（アドレス）　（データ）

操作手順

1.各専用コントローラーの操作手順に従ってカメラセットアップ画面に入ります。カメラセットアップ画面に入る方法はコントローラーにより異なりますので、コントローラーの取扱説明書をお読みください。

2.▲▼でモードを選択し、▶ を押します。

3.▲▼でアドレスを選択します。

※COLORモードの場合は、アドレスを選択し、▶ を押し▲▼でデータを選択します。

4.必要な設定が終了したら▲▼で「END」を選択し、▶ を押します。

5.▲▼で「MEMORY／CLEAR／CANCEL」を選択し、メニューキーを押します。

1. ホワイトバランス（WB）（出荷時設定：ATW）

色温度3200Kから8000Kの範囲内の照明に対して、自動または手動でホワイトバランス調整ができます。

1.ATW　：自動色温度追尾モードを設定します。照明が悪い場合は、ホワイトバランスが調整できない場合があります。

2.AWC　：ホワイトバランスをワンプッシュで合わせたいときに使用します。
コントローラーのメニューキーを押すことにより調整されます。
ATWモードよりも正確に調整することができます。
このモードは、色温度の変化が少ない場合の撮影に効果的です。

3.3200K、4200K、4700K、6300K　：各色温度に固定されます。

※1.、2.の詳細設定はCOLORモードにおけるAWB−R、AWB−Bで行います。

3.の詳細設定はMWB−R、MWB−Bで行います。

2. 電子シャッター（SHUT）（出荷時設定：OFF）

電子シャッターの手動切換または自動切換を選択します。

1.OFF　　：出荷時設定（1／60秒）

2.FL－ON ：フリッカーレス

3.AUTO　：電子シャッターを自動的に切換えます。（※1）

4.1／250、1／500、1／1000、1／2000、1／4000、1／10000（※1）

：各シャッタースピード（単位：秒）に設定されます。

※1　オートアイリスレンズ使用時は、このモードを選択しないでください。

3. 逆光補正（BLC）（出荷時設定：OFF）

逆光補正は、背景に強い光（スポットライトなど）があるときに被写体が暗くなるのを防ぎます。

1.OFF　　：逆光補正なし

2.ON　　：逆光補正がかかります。

4. アイリス調整（IRIS）（出荷時設定：00）

DC方式の自動絞りレンズの明るさを調整します。

ビデオフィードバック方式の自動絞りレンズを使用する場合は、この調整は無効となります。

5. AGC（AGC）（出荷時設定：12dB）

AGCの最大ゲインを調整します。0dB～28dBまでの8段階の中から選択します。

6. 輪郭補正（APCON）（出荷時設定：0）

輪郭補正のレベルを調整します。－6～9の中から選択します。

7. 色補正（COLOR）（出荷時設定：00）

1.AWB－R　：UPすると画面全体での色の赤みが増します。
（ATW、AWC時のみ有効）
2.AWB－B　：UPすると画面全体での色の青みが増します。
（ATW、AWC時のみ有効）
3.MWB－R　：UPすると画面全体での色の赤みが増します。
（すべての固定色温度に対して有効）
4.MWB－B　：UPすると画面全体での色の青みが増します。
（すべての固定色温度に対して有効）
5.RGAIN　：赤の濃さを調整します。
6.BGAIN　：青の濃さを調整します。
7.RYHUE　：赤の色調を調整します。
8.BYHUE　：青の色調を調整します。

8. END（END）

1.MEMORY　：設定値を記憶させ、カメラセットアップ画面を消します。
2.CLEAR　：すべての設定を出荷時設定値に戻し、カメラセットアップ画面を消します。
3.CANCEL　：カメラセットアップ画面を表示したときの設定値に戻し、カメラセットアップ画面を消します。

保証と修理サービスについて

● 保証書について
保証書は販売店からお渡しします。
必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめください。
保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間：お買上げ日から１年

● 保証期間中に修理を依頼されるときは、お買上げの販売店にご連絡ください。
保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

● 〈ご連絡していただきたい内容〉
・ご住所・ご氏名・電話番号
・製品名・型名
・ご購入日（保証書をご覧ください）
・故障内容
・異常の状況（できるだけ詳しく）

● 保証期間経過後、修理を依頼されるときは、お買上げの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により、有料で修理いたします。

● 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

愛情点検

● 長年ご使用の機器の点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により製品が劣化し故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	● 電源スイッチを入れても映像が出ない。 ● コードを動かすと通電しないことがある。 ● 映像が時々、消えることがある。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像が消えない。

➡

ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

連絡先のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。
販売店に修理を依頼する場合は下記の項目をお確かめください。
①品　名　②品　番　③お買い上げ日　④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）
ご転居されたり、ご贈呈品などで販売店に修理のご相談ができない場合は最寄りの下記弊社営業所にご相談ください。

札幌営業所	〒064-0811 札幌市中央区南11条西 10-2-17	TEL. (011) 511-5505(代)	FAX. (011) 511-5529
釧路営業所	〒085-0025 釧路市宝町 3-8	TEL. (0154) 25-3156(代)	FAX. (0154) 25-6261
仙台営業所	〒984-0015 仙台市若林区卸町 3-6-11	TEL. (022) 232-1295(代)	FAX. (022) 232-1297
東京営業所	〒110-0008 東京都台東区池之端 2-3-17	TEL. (03) 3821-3721(代)	FAX. (03) 3827-5423
新潟営業所	〒950-0922 新潟市山二ツ 4-6-19	TEL. (025) 287-3611(代)	FAX. (025) 287-3613
金沢営業所	〒920-0362 金沢市古府 1-190	TEL. (076) 240-4577(代)	FAX. (076) 240-6737
静岡営業所	〒422-8037 静岡市下島 152-5	TEL. (054) 238-1446(代)	FAX. (054) 238-1453
名古屋営業所	〒466-0051 名古屋市昭和区御器所 1-3-29	TEL. (052) 871-1671(代)	FAX. (052) 872-4128
大阪営業所	〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-2-7	TEL. (06) 6632-2855(代)	FAX. (06) 6644-1624
岡山エリア連絡先		TEL. (086) 244-2317(代)	FAX. (086) 244-4461
高松営業所	〒760-0079 高松市松縄町 525-1-203	TEL. (087) 868-1181(代)	FAX. (087) 868-1331
広島営業所	〒730-0016 広島市中区幟町 5-29	TEL. (082) 222-5511(代)	FAX. (082) 222-5513
福岡営業所	〒810-0074 福岡市中央区大手門 3-9-15	TEL. (092) 721-5000(代)	FAX. (092) 721-5089
鹿児島営業所	〒890-0052 鹿児島市上之園町 8-12	TEL. (099) 250-0220(代)	FAX. (099) 257-3327

ユニペックス株式会社
本社/営業本部　〒573-1132　大阪府枚方市招提田近3-6
お客様相談窓口（CS課）　TEL. (072) 855-3334

#KTVCC210-H0-0